

■招詞 イザヤ書 12:5-6a 「主にほめ歌をうたえ。主は威厳を示された。全世界にその御業を示せ。シオンに住む者よ/叫び声をあげ、喜び歌え。」

■礼拝の祈り

天におられる主イエス・キリストの父なる神、わたしたちの父よ、

<礼拝の招きへの感謝>

今朝もこうして、礼拝をすることができます。わたしたちの心と体をささえ、礼拝のために必要なさまざまなことについてあなたが心を配ってくださったことを感謝します。それぞれの歩みの中で礼拝をおささげします。若い者、年老いた者、喜びの中にあるもの、悲しみ・困難の中にある者、戸惑いの中にある者、多くの問いを抱いたままの者、愛する者のために喜びにあふれている者、愛するもののために心重い者、言葉を尽くして言い表すことのできないほどのさまざまな姿がここに 있습니다。それぞれの思いを、ある者は一時解き放たれる思いで、ある者はすべてを抱えたまま、御前に立たされます。しかしなによりも、あなたがわたしたちもひとりひとりを覚えてくださっているとの確信、安心の中でこの時を過ごすことができますように。

<神の御前での罪の告白と悔い改め>

振り返ると、自分の弱さ、罪深さを思わざるを得ない一週間でした。やるべきと思ったことの半分もできずに弱さを嘆きます。かえってあなたから与えられているはずの時間を怠惰に過ごしました。何よりも、自分のことばかりに心を向け、隣人のために時を割くことが少なく、国や世界のこととなるとほとんど祈ることのない者でした。朝に夕に祈り、御心を問うところにすべての生活を立てるべきところ、御心を問うことは本当に最後の最後、困ったときだけという自分勝手な生活をしていました。そのような歩みの中からしかし今ここに立たされています。あなたの招きによって、あなたの御前に罪を告白し、赦しを願う心が与えられたからです。わたしたちの全生活を御言葉の上にたたせていただきたいと、今、もう一度願います。

<御言葉が語られ、聞かれるため、聖霊の働きを求めて>

どうかそのために御言葉を聞かせてください。これまでの歴史において、数知れぬ人々を生かし支えてきてくださったあなたのみ言葉をもって、私どもに語りかけ、様々な思い煩いから解き放ってください。アブラハムを呼び出したように、モーセを召し出し、またパウロによびかけたように、あなたから呼び出されて生きるものの幸いを味あわせてください。あなたの呼びかけと、救いによって、新しい人間としての歩みを与えてください。

今、この同じ時に礼拝をしている日本のすべての教会、在宅礼拝をしている者、また全世界にある教会を顧みてください。特に、迫害の恐れの中を耐えている教会、戦争の中で祈りを絶やさずにいる教会、また小さな、貧しさを嘆くよりほかない思いをもっている教会がありますならば、新しい望みのともしびをともしてくださいますように。どうか、ひとりの主につながるすべての教会が、主が再び来てくださいるときまで、礼拝をともに続けることができますように。わたしたちがここでささげる礼拝が、あなたが耳を傾けてくださるとの確信の中で、あなたの栄光と賛美となりますように。

主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン

■教会の祈り

<礼拝感謝>

<夏の行事と生活感謝>

暑い日が続いています。こうして教会に集まることができる健康とさまざまな事情を整えられたことも恵みとして感謝いたします。なお、この暑さが特に体に大きな影響がある人たちをお守りください。

教会学校ではさまざまな夏の行事が行われました。小中学生の夏のおたのしみ会、全国連合長老会中高生修養会、教会での中高生の夏のつどい。どの行事も御言葉によって恵みのうちに行われました。こどもたちの心と体を育て、何よりも信仰を育んでください。教会学校の業をこうして教会に与えてくださり、子どもたちを招いて下さる恵みを感謝します。仕えます教会学校教師、説教者、また祈りで支える教会員みんなの業をかえりみてください。

<困難の中にある人を救ってください>

心や身体に弱さを覚えている人を助けてください。病気の痛みがあります。不安があります。老いによる身体の重さがあります。医療、介護があります。しかし、その上でまことの救いを必要としています。御言葉による救いを信じます。弱さの中にこそあなたの栄光をあらわすことができますように。

<祈りのうちに一週間を歩ませてください>

歩みだします一週間も、どうか祈りのうちに歩ませてください。

■祝福 主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、あなたがた一同と共にあるように。アーメン。